

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2025/09/12

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	31.72	-0.04
JPY/THB	0.2154	0.0000
USD/JPY	147.21	-0.25
EUR/THB	37.23	0.08
EUR/USD	1.1734	0.0039
USD/CNH	7.113	-0.007
SGD/THB	24.75	-0.02
AUD/THB	21.13	0.12
USD/INR	88.44	0.34
USD Index	97.53	-0.25

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.132	0.018
10Y (THB)	1.292	0.035
5Y (USD)	3.595	0.000
10Y (USD)	4.021	-0.025

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	3,645.0	-8.1
WTI (Oil)	62.37	-1.3
Copper	10,051.5	38.5

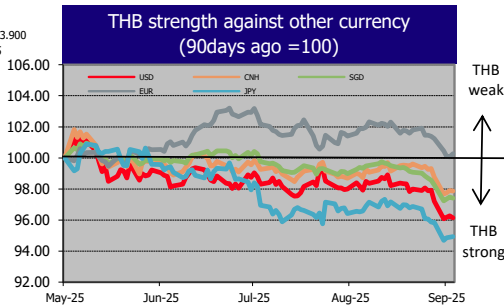
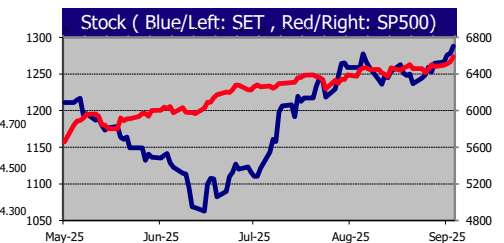
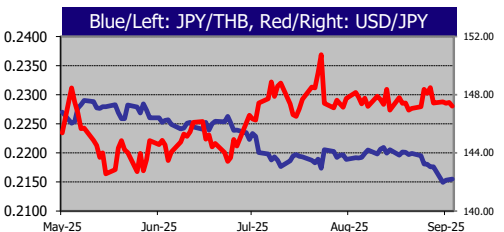
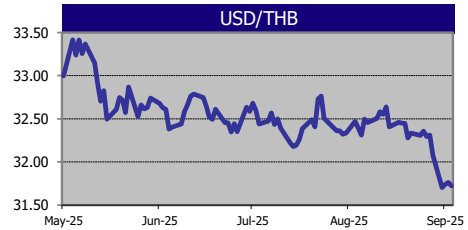
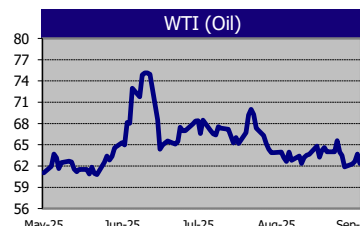
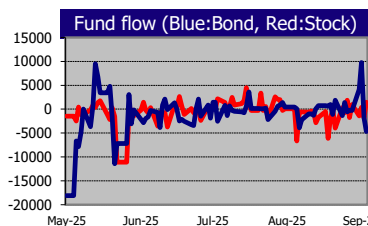
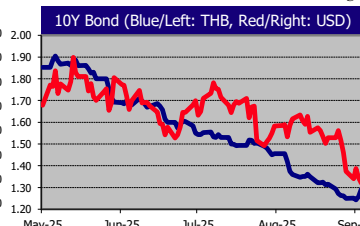
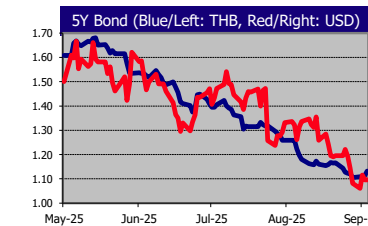
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,288.03	9.98
NIKKEI (JP)	44,372.50	534.83
DOW (US)	46,108.00	617.08
S&P500 (US)	6,587.47	55.43
SHCOMP (CN)	3,875.31	63.09
DAX(GER)	23,703.65	70.70

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	1,484	3283.5
Bond net flow	(4,675)	-2839.2

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルバツ

昨日のドルバツは31.70バツ台後半で取引を開始し、しばらくは動意に欠ける展開であったが、午前中発表されたタイ8月消費者信頼感指数が2022年以来の最低水準となるとバツ売りが優勢となり欧州時間にかけて31.80バツ台後半まで上昇。その後、NY時間朝方に発表された米8月CPI (前月比) が市場予想を上回った一方、コアCPIは市場予想とほぼ一致、米新規失業保険申請件数は予想対比悪化するという強弱混合の内容に、一時31.60バツ台後半まで売られるも、その後31.70バツ台後半まで買い戻された。一服すると31.70バツを挟んだ方向感を欠いた推移となり、そのままの水準で取引終了。

●ドル円その他

アジア時間のドル円は147円台前半で取引開始後、NY時間に米8月CPIと新規失業保険申請件数の発表を控え動意に欠ける展開であったが、東京時間終盤に高市氏総裁選出馬のヘッドラインが出ると、財政拡張懸念から円売りが進み、147円台後半まで上昇し、欧州時間に渡った。その後再び経済指標待ちで147円台後半で動意乏しく推移した。NY朝方に発表された米経済指標が強弱まちまちの内容となり、発表直後はドル買いで買いで反応し、一時148円台前半まで上昇も、すぐに米金利が低下すると一転ドル売りが強まり、147円付近まで売られた。一服後は147円台前半の方向感を欠いた推移となりそのままの水準で取引終了。昨日ECBが主要政策金利を2.15%に据え置き事を発表したユーロドルは、その後のラガルドECB総裁の記者会見での「ユーロ圏の経済成長におけるリスクはより均衡した」等と利下げサイクル終了を示唆するような発言を受け、1.10ドル台前半まで上昇。

Bangkok Dealer's Eye

ドルバツは2021年以来的の安値圏での推移が継続中。月初来の騰落率で見ればタイバツは他の主要なアジア通貨対比通貨高が進展しており、中銀も「為替動向を注視」といったコメントを出す等、警戒感を高めている。

政府・中銀としては、米国向け輸出に対し19%の関税が課される中で関税影響を少しでも緩和するためにも、この局面では通貨安に誘導したいと推測される。同じく19%の関税が課されているマレーシアやフィリピンは、通貨の月初来騰落率がどちらも+0.3%程度であり、THBの1.86%と比べ格段に低い。米国向け輸出という観点では、単純計算で周辺国対比1.5%の競争力が低下したとも考えられ、警戒感を高めていることも納得できる。

また、タイでは米国からの輸入の大部分に対する関税を撤廃している。輸入関税撤廃に加え、通貨高が進めば輸入物価は低下し、タイのインフレ率をさらに押し下げる要因となろう。輸出競争力・国内インフレどちらの面からみても中銀がバツ高の是正に動くのは、ごく自然な流れであろう。理論上、本国通貨売り介入は本国通貨買い介入とは異なり、資金の制限がないため無制限に行うことができる。(当然、行き過ぎれば他国からの批判は免れないが。) 年後半に経済が減速すると見込まれている中、中銀が通貨高対策に本腰を入れドルバツが反転する可能性には注意したい。(綱島)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.